

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜見平団地(建替)第2期第1住宅建設その他工事(D-4号楼)	階数	地上8F
建設地	茅ヶ崎市浜見平386-1外6筆の一部	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	179人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2013年7月19日
敷地面積	2,524㎡	作成者	株式会社 鴻池組
建築面積	1,007㎡	確認日	2013年7月20日
延床面積	5,861㎡	確認者	株式会社 鴻池組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・㎡)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	大規模団地における豊かな環境資産を活かし、地域の人々の暮らしの場に相応しい多様でヒューマンな施設づくりに配慮している。	その他 0
Q1 室内環境	角住戸の開閉部にはペアガラスを採用。また小庇を設置するなど熱負荷低減に配慮している。住居の昼光率4.8%とし、積極的に昼光利用している。共用部の照明設備は熱線式自動スイッチ、タイムスケジュールによる自動制御を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 並木による歩道を整備し明るく開放的な沿道を整備し良好な景観を形成している。 植栽により、良好な景観を形成し周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させる計画としている。 長大なスケール感を和らげる壁面分節により、周辺環境に馴染むヒューマンな住棟を計画。
Q2 サービス性能	無梁床の採用により、広くフレキシビリティ性の高い居住空間を確保している。 また劣化対策等級3を確保し、耐震クラスAを計画することにより信頼性のある計画としている。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率を71%に抑制。
LR1 エネルギー	省エネルギー対策等級4を計画。	
LR2 資源・マテリアル	6L超節水型大便器、手元止水スイッチ付きシャワーヘッドを採用し節水に配慮している。GL工法、置き床工法を採用し容易に解体できる仕様とし再利用可能性に配慮している。断熱材は全てノンフロン品を計画し汚染物質使用に配慮した計画としている。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 'ライフサイクルCO₂'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される